【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公表番号】特表2007-510943(P2007-510943A)
【公表日】平成19年4月26日(2007.4.26)
【年通号数】公開・登録公報2007-016
【出願番号】特願2006-537527(P2006-537527)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｌ　15/22　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｌ　15/22　４６０Ｚ
Ｇ１０Ｌ　15/22　４６０Ｄ
Ｇ１０Ｌ　15/22　４７０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成19年10月25日(2007.10.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１６】
第一の音声信号から文字に置き換えられたテキストを供給する音声－テキストトランスクリプションシステムの誤り検出のためのコンピュータプログラムプロダクトであって、
当該コンピュータプログラムは、
文字に置き換えられたテキストから第二の音声信号を合成し、
前記第二の音声信号のスピード及び／又はボリュームを前記第二の音声信号のスピード及び／又はボリュームに整合させ、
第一の音声信号と第二の音声信号との間の比較のため、第一及び第二の音声信号の出力を供給する、
ためのプログラム手段を含むことを特徴とするコンピュータプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１７】
前記コンピュータプログラムは、第一及び第二の音声信号を減算又は重ね合わせすることで、比較信号を生成する手段を有する、
請求項１６記載のコンピュータプログラム。
【手続補正３】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１８】
前記コンピュータプログラムは、誤り検出のために音響的又は視覚的に前記第一の音声信号、第二の音声信号、及び／又は比較信号を提供する手段を含む、
請求項１６又は１７記載のコンピュータプログラム。

【手続補正４】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１９】
前記コンピュータプログラムは、前記比較信号が予め定義された範囲を超えるとき、誤りの示唆を出力する手段を含む、
請求項１７又は１８記載のコンピュータプログラム。
【手続補正５】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２０】
前記比較信号における別個のパターンを文字に置き換えられたテキストにおける所定のタイプの誤りに割り当て、訂正に示唆に文字に置き換えられたテキストにおける検出されたタイプの誤りを提供する手段を含む、
請求項１７乃至１９のいずれか記載のコンピュータプログラム。